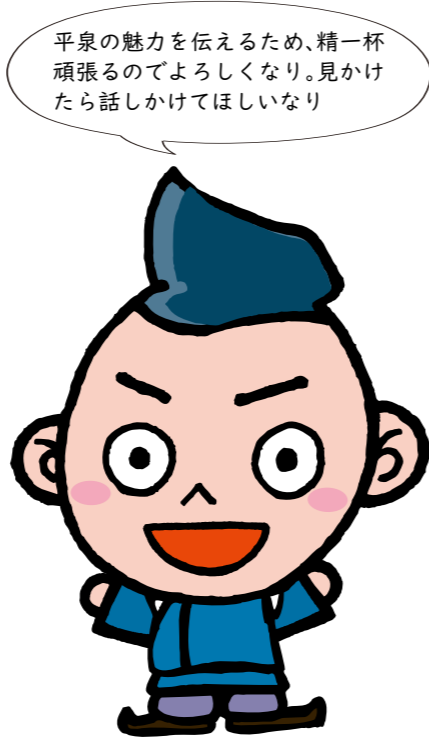


町観光PRキャラクター きよひらくんを紹介します！

町観光PRキャラクターの「きよひらくん」は、平泉の魅力幅広く発信するため、町内外で活動しています。見かけたときには、温かい声援を送ってください。広報ひらいずみにも登場するかもしれません。

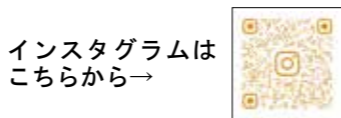


平泉の魅力を伝えるため、精一杯頑張るのでよくなり。見かけたらか話しかけてほしいなり

公式「X」(旧ツイッター)と
Instagramで情報発信中



X(旧ツイッター)は
←こちらから



Instagramは
こちらから→

【プロフィール】

平泉を築いた藤原三代の初代清衡公をモチーフにした、平泉生まれのキャラクターです。二度の戦乱を乗り越え、みんなが仲良く暮らせる平和な都「ひらいずみ」を築き上げた心優しいヒーローです。

- 誕生日…4月15日
(今の平泉町が誕生した日)
- 生まれた時代…平安時代
- 性格…元気、優しい
- 好きな場所…金色堂
- 好きなもの…サクラ、ハスの花
- 苦手なこと…争いごと
- 特技…けまり
- チャームポイント…ぱっちりおめめ
- 友だち…ケロ平
- 問い合わせ先…観光商工課 ☎46-5572



町内で1年間「交通死亡事故ゼロ」となり、県警からの賞賛状を手にする青木町長(左から4人目)と阿部好暢一関署長(同5人目)ら関係者=8月17日、役場

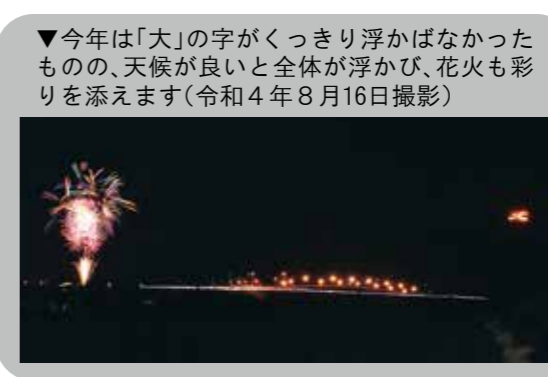
賞賛状の伝達式は17日、役場で行われ、町内の交通安全関係団体の代表者や青木町長、一関警察署員ら10人余りが出席。青木町長が、県警本部長名の賞賛状を阿部好暢一関警察署長から受け取りました。青木町長は「交通指導隊や交通安全協会、交通安全母の会など関係団体の力添えにより賞賛状をいただいた」と感謝しながら、「新たな気持ちで交通安全に取り組みでいく」などと決意を示しました。町内では、令和4年8月13日を最後に1年間、交通死亡事故の発生がありませんでした。

町は8月17日、町内の交通死亡事故が14日までの1年間ゼロだったことから、県警察本部から賞賛状の伝達を受けました。

1年間交通死亡事故ゼロを達成 町が県警から賞賛状を受ける



⑦火床は「大」の字になるよう、手分けして64基作ります



▼今年は「大」の字がくっきり浮かばなかったものの、天候が良いと全体が浮かび、花火も彩りを添えます(令和4年8月16日撮影)

平泉大文字送り火

送り盆行事の「平泉大文字送り火」(平泉観光協会主催)は8月20日、町内で行われました。当初は16日の予定でしたが、強風のため延期して実施。中尊寺本堂の「不滅の法灯」から分火された火種が午後8時から火床に点火され、赤々と燃える大文字が山肌から浮かびました。この火床は、8月11日に平泉中学校の生徒など約180人が手分けして作りました。今回は、火床作りの様子を写真で紹介いたします。



⑥運んだ木材を重ね合わせ、火床を作ります



③④⑤参加者約180人が声をかけ合い、協力して手渡します。④の上に見えるのは、町中心部です



①駒形峰を進み、配置に向かいます



②あずまやから木材約3,000本、塔婆約2,500本を運び出します



Interview

大文字送り火の火床作り(8月11日)を体験した平泉中学校の1年生に聞きました。



⑤齋藤 蒼彩さん (8区)

兄が火床作りに参加したことがあって話を聞いていたけれど、イメージより大変でした。みんなと協力して活動できて楽しかったです。

⑥津田 愛音さん (13区)

急な斜面で木材を手渡して運び、積み重ねるのは疲れたけれど楽しかったです。自分で作ったことを意識して家族と送り火を見たいです。

⑦及川 二子さん (14区)

木材を運ぶのが大変でした。送り火は見たことしかなかったので、火床の仕組みや、多くの人が関わっていることが分かりました。